

支部社協通信

第19号
平成24年3月1日発行
西条市社会福祉協議会
地域福祉課

支部社協紹介

今号は、西条市の北西部に位置し、ひうち灘に面する東側には干拓地があり、天井川として有名な大明神川（川底より低い位置に平地（住宅地等）があり、川底下のトンネルをJR予讃線が通る）の北に広がる緩やかな丘陵地帯の三芳支部社協を紹介します。

かつては、庄内から三芳に流れる大明神川の両岸は美しい松並木の名所でしたが、現在ではほとんどが枯れてしまいました。また、1923年に現在のJR伊予三芳駅が開業し、三芳競馬場（1939年廃止）があったこと等もあり、駅前通りや主要道路周辺には多くの商店があって人で賑わう町でしたが、時代変化に伴い商店は減少し、地域環境も変わりました。

しかしながら、国道196号線や小松・今治自動車道が通り、また、数年前にはバイパス道路（東予総合支所や庄内へのアクセス整備）が完成する等、市内外へのアクセスが整備されたこともあり、地域内に分譲住宅地等が増えました。今後、このバイパス道路が更に北へ延長され、総合運動公園（ビバ・スポルティアSAIJO等）方面へと繋がるのが期待されます。

また、地域福祉活動拠点となる東予北地域交流センター等も主要道路付近に集結し、利便性・環境ともに恵まれていますが、際立った地場産業がないこともあり、河北中学校区（楠河、三芳、庄内）の総合的な児童数の減少に将来の不安を感じています。

近年進行している住宅地化やアクセス整備等が、住民及び社協会員の増加へとつながり、人であふれる三芳となることを願っています。

三芳支部

支部長 桑原 敏

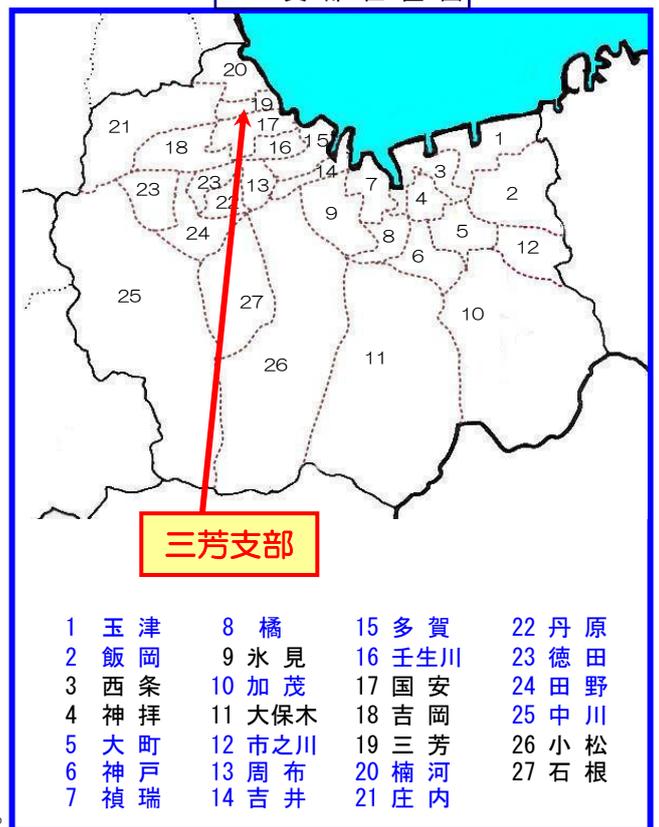


公民館長との兼務として5年、社協支部長専任として4年。住民総参加をめざし、役員を自治会・婦人会・老人クラブ・民生児童委員等各種団体の長・有識者・公民館職員で組織し、温かい住民の皆さんのご理解とご協力を頂き、地域福祉活動の推進に努力しています。

各種団体の力を結集した「敬老の家事業」「共同募金活動」「敬老会（受託事業）」等を支部社協主催事業として取り組んでいます。地域を支える多種多様な福祉団体等の団体助成事業として「ふたば会（環境美化グループ）による花の植栽ボランティア」「愛護班による子ども御輿の運行」「老人クラブによるとうどうさん」「保存会による三芳祝い太鼓」「地域ぐるみの文化祭」等の伝統継承及び、幼児・児童福祉事業等を支援しています。

（み）みんなで支え合い（よ）喜ばれ（し）幸せを感じてもらえる、住民主体の支部社協を目指し、社協がより一層、住民の身近な存在となれればと考えております。

27支部位置図



三芳地区はこんなところ

■基本情報（平成24年1月現在）

人口 : 2,563人
世帯数 : 1,093世帯
自治会数 : 4
施設等 : 東予総合支所三芳出張所、公民館、東予農村環境改善センター、東予北地域交流センター、燧洋幼稚園、河北保育所、三芳小学校、JR伊予三芳駅、東予希望の家、すぱーく東予 等

■名所等

大明神川トンネル(天井川)、三島神社、光明寺、日切山弘福寺、毘沙門堂 等

■地場産業

農業（米等）、酪農（牛・豚）、養鶏、酒造 等

■伝統・行事等

三芳祝い太鼓、三芳地区文化祭、とうどうさん、秋一斉掃除、カラオケ大会、敬老会、運動会 等





自慢の支部事業

今回は、支部社協が支援を行う福祉団体のひとつである「三芳祝い太鼓保存会」について紹介します。

市内には和太鼓を演奏する団体（加茂の荒獅子太鼓、楠河のひうち太鼓等）がいくつかありますが、「三芳祝い太鼓」は、演奏者全てが児童で構成されています。児童たちが日々の練習に励み、伝統継承のため活動できるよう、指導者や保護者を中心に、たくさんの社会資源に支えられています。

- 1 事業名 支部社協による福祉団体等の助成事業
- 2 対象団体 三芳祝い太鼓保存会
- 3 目的 伝統芸能の継承と児童福祉の推進
- 4 活動内容 公民館で定期的な練習を行い、市内を中心とする各種イベント等で演奏
 - ・夏祭り、秋祭り
 - ・獅子舞フェスティバル
 - ・敬老会
 - ・運動会、文化祭
 - ・レク大会
 - ・福祉施設慰問 等

～ 普段の練習（公民館多目的ホール） ～



今年で25年目を迎えた三芳祝い太鼓は、地域の遊びや歌等の伝承活動をしていた「三芳わらべ歌グループ」が前身で、昭和62年の小学校落成記念として寄贈された4張の大太鼓がきっかけで誕生しました。そして、数の少なかった太鼓の代わりに竹を叩いて練習していた時期や三芳祝い太鼓の存続が危ぶまれた時期を乗り越え、保護者を中心に多くの地域住民や公民館等の支援により、現在の活動主体である「三芳祝い太鼓保存会」が平成7年に結成されました。

保存会は、会長をはじめ13名の役員で構成され、太鼓の指導者、児童の保護者、公民館、社協等の社会資源に支えられながら、地域文化の振興・伝統芸能の保存に努めています。（文化振興が称えられ、芸術文化奨励賞等を受賞）

三芳公民館で毎週木曜日に行われる練習は、児童たちの元気なあいさつではじまり、小学1年生から6年生まで約20名が一生懸命練習します。各種イベントでの演奏成功を目標に練習に励みますが、児童は、優しくも厳しい指導者のもと、協調性の大切さ、教える・教わる姿勢等、たくさんのお話を学んで成長しています。

そして、新学期となった毎年5月に、小学校を卒業した祝い太鼓メンバーを招いた閉講式で祝い太鼓卒業証書を授与し、新小学1年生の中から新規会員を募り開講式で出迎えています。児童を取り巻く環境変化に伴い、自治会活動やスポーツ少年団等と同様に三芳祝い太鼓を継続するために様々な問題や変化が生じています。

しかしながら、「祝い太鼓」を通じて成長していく児童たちをみていると、成長の早さに驚かされるとともに、その成長に地域住民として関わってこられたこと、地域で元気に暮らしていることを大変うれしく思います。

近年は各種イベントでの演奏に加え、福祉施設等への慰問演奏にも力を入れおり、「演奏を聞いて元気をもらえた」「赤と黒の勇ましいハッピー姿が忘れられない」等のありがたいお言葉をいただき、児童たちの励みにもなっています。

今後も、三芳祝い太鼓に負けないよう、児童たちの心にも響くような地域福祉活動を推進し、「三芳で育ててよかった」「将来も三芳に住みたい」と感じてもらえるよう、住民主体で地域福祉活動の推進に取り組んでいきたいと思ひます。

～ 閉講式 ～



～ 開講式 ～



～ 運動会での演奏 ～



～ 敬老会での演奏 ～



社協からのお知らせ

第8回ボランティアフェスティバル案内

- 1 開催日 平成24年3月11日(日) 10:30～15:00
- 2 場所 西条市中央公民館(周布)
- 3 内容 ①ステージ発表・ビンゴ大会 ②体験・展示コーナー
③販売(喫茶、たこ焼き、クッキー、うどん等) 等

第8回福祉フェスティバル(予定)

- 1 開催日 平成24年4月29日(日) 10:00～15:00
- 2 場所 西条市総合福祉センター(神拝)
- 3 内容 ①福祉協力校活動展 ②介護・福祉・障害者相談
③ボランティア相談・体験 ④高齢者疑似体験等
⑤チャリティーバザー(うどん・喫茶・のみの市) 等
※のみの市は11:00～12:00

東日本大震災を忘れない

東日本大震災から1年が経過しますが、私たちにできることは、復興支援に加え「東日本大震災の教訓を忘れず、西条市を住民主体の災害に強い地域にする」ことです。

市では、自主防災組織の結成、避難訓練や研修会等に取り組み、防災・減災の町づくりを推進していますが、災害時の減災ポイントは、平常時の「地域コミュニティ」に深く関係すると言われています。

「地域コミュニティの醸成」は社協活動の根幹であり、社協活動は「災害に強い地域づくり」に直結しています。

地域の実情に合わせた平常時の支部社協活動に期待がかかります。